

伯耆大山早春登山報告2023.4.8



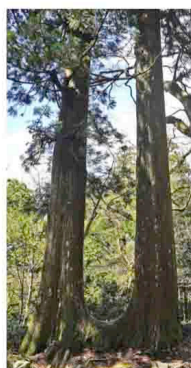
登山当日の早朝は大雨で大変寒かったが、出発予定の6:15頃になると雨はやみ、晴れを期待して出発。
モンベルショップの南を流れる佐陀川は増水。大山北壁は雲に隠れて全く見えない。



当初予定の行者谷コースは避け、モンベルの先の大山寺橋を渡り、左手に現れる夏道コースを登る。
阿弥陀堂の手前で左に曲がると、延々と続く丸太階段が見える。



杉林の中にある阿弥陀堂は藤原時代に建立されたとかで、檜皮葺の屋根が、室生寺の金堂を思い出させる。



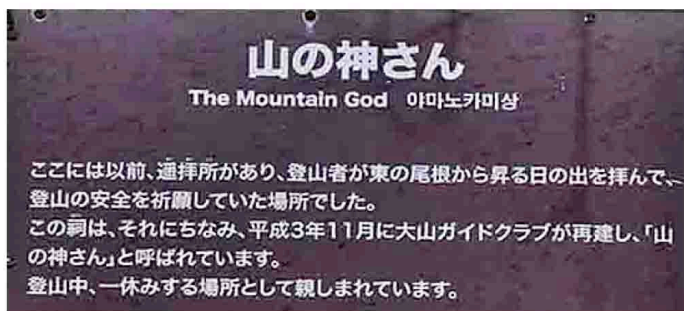
重要文化財 大山寺阿弥陀堂 (明治37.2.18 指定)

중요문화재 다이센지 절 아미다불당

この建物はもともと常行堂として藤原時代に建立されたものといわれ大洪水で破損したため天文二十一年(五五)古材を利用してこの地に再建されたものである。組物や柱など主な部分は鎌倉時代、三斗組、九柱、間斗束などは弘安頃のものとして推定され風格に富んでいる。

文化財要 木造阿弥陀如来及び両脇侍像 (明治37.2.18 指定)

堂内の阿弥陀三尊は天承元年(三三)佛師良円の作と伝えられる優雅な佛像で彫刻史上きわめて価値が高い。



きっちりと整備された階段が無限に続く。いささか飽きるが、代わるがわるに現れる標高と、合数の道標やあたりの簡潔な説明板がこの山の管理者の熱意を伝えてくれる。

トップの村田さんはそのたびに大声で「XXm」と報告してくれて、気合いが入る。



7:45 山の神さんという小さな祠がある。一休みする場所としての説明はなんだか微笑ましく正に一休みした。

7:51 ガスの中にブナが巨人の様に佇んでいる。枝先が踊る腕の様だ。



8:05 6合避難小屋着 ようやく丸太階段からは開放される。途中ぱらぱらとみぞれ雪が舞い、視界は晴れない



小屋のすぐ上の斜面にべったりと雪がついて、ここでアイゼンを付けた。



9:00 吹きさらしの高山帯に出ると風が痛いほど冷たい。突然雲が切れ下界が見えた。緑と、枯れ枝、そして雪。3つの季節が同時に見える不思議な眺め。



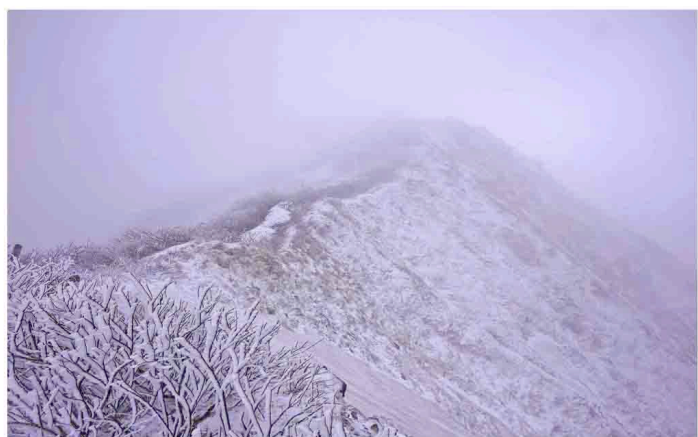
高山帯の植生を守るために全面的に木道が敷かれている。途中登山道の脇に荷物搬送用のモノレールが延々と続いていた。それがこの木道の整備のための資材輸送用だと聞いた。大事業だ。



9:14 出発から3時間でようやく8合目。9:43そこからほどなく、ガスの中に頂上小屋が現れる。

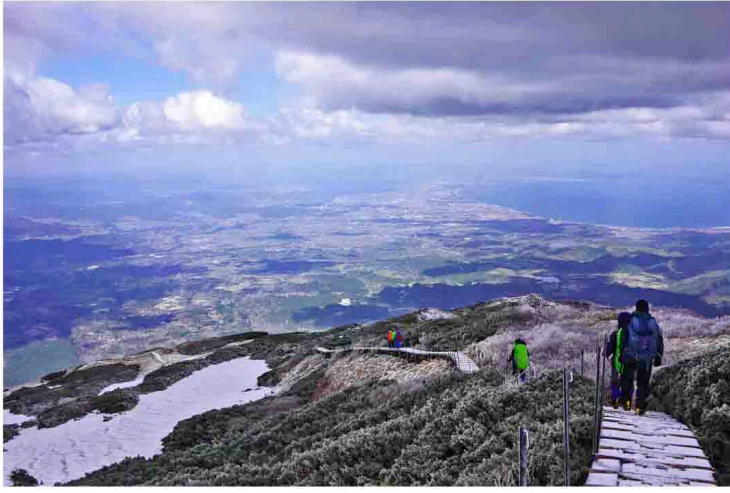


9:48頂上着。寝不足だった山下さん、とってもうれしそう。お疲れさま！



ここは1709mの弥山（みせん）。本来はこの先の1729mが剣ヶ峰という頂上だがそこまでの稜線は崩壊していて立ち入り禁止状態。10分ほどいて下の避難小屋に入り人心地付けて10:30下山開始。見事な海老のしっぽが見られた。





ガスが切れて下界の緑が見え始めた。右手には待望の大山北壁も見える。大雨からガス、そして青空。天気はめまぐるしく変わり、見るべきものを全て見るようになった。万歳！



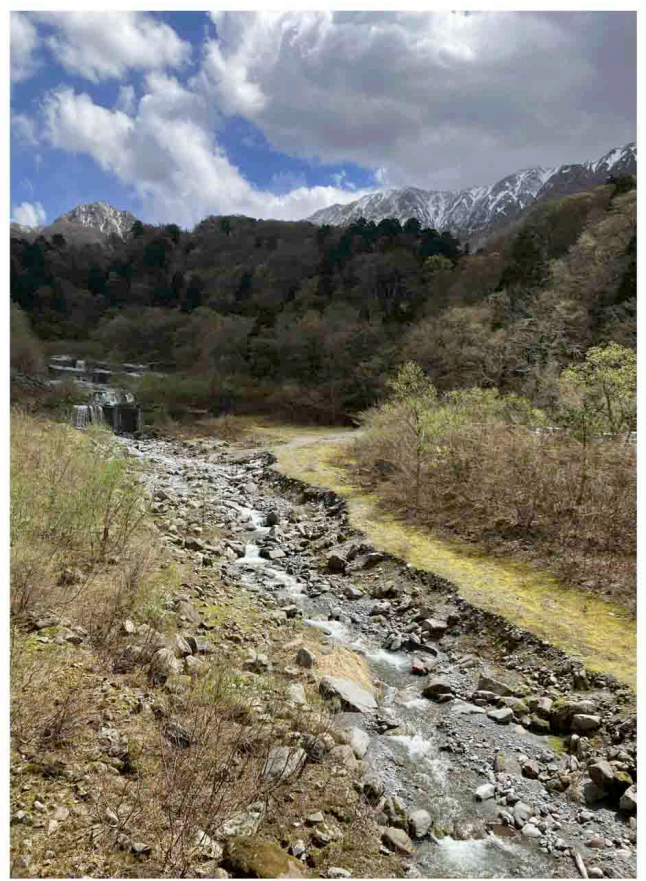
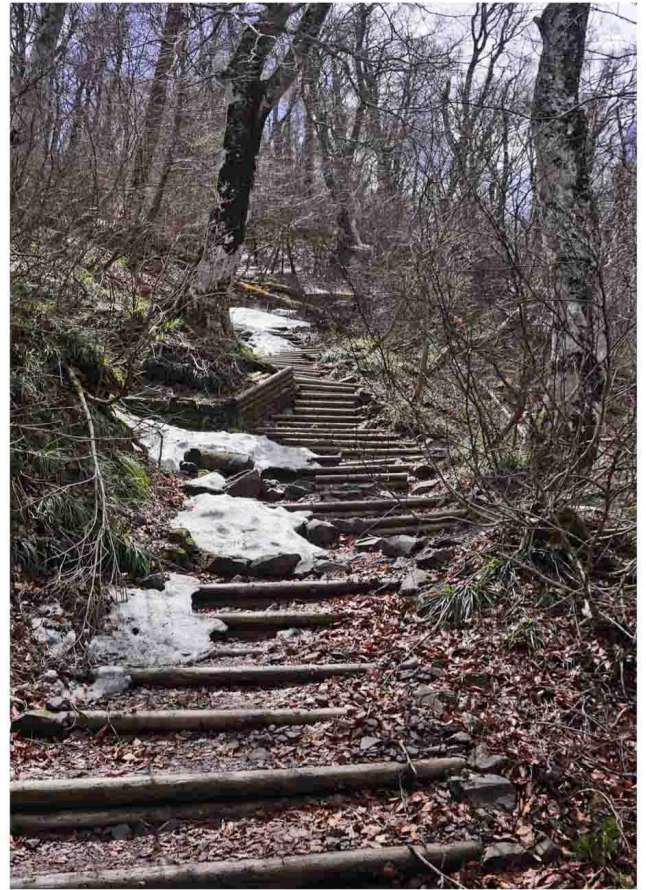
道は雪と岩が混在してアイゼンの爪を引っ掛けがち。慎重に下る。途中で北壁をバックに「はいポーズ！」



11:30 6合目でアイゼンを外してほっとする。登りの折には背後の北壁はガスで見えなかった。



下りは日射しが戻り、まるで秋山の趣。丸太階段の造形美を観賞しながらゆく。下から登ってくる人もちらほら。香港やシンガポールから来たと言うスニーカーをはいた若者たちには驚いた。コロナ明けでインバウンド客がこんなところまで戻ってきた。



12:45 下界の春に向かって山を下る。 12:50佐陀川まで辿り着いた。往復6時間半でした。

伯耆大山早春登山報告(2023.4.8)

寝台特急サンライズ出雲+出雲大社+日本百名山「大山(だいせん)」1729m Rev1

必携品: 6本歯アイゼン、ストックorピッケル、ヘッドランプ、3回目以上ワクチン接種証明書、写真付身分証明書

日時: 4/6木21:40東京駅9番線 集合-4/8土15:05大山寺バス停 下山後解散

参加者:

村田卓弘

山下栄作

清水朝子

萩野三智子

兵藤元史

前神直樹

金子晴彦

<宿到着は13:00頃>

<宿到着は15:00頃>

行程

■4/6木21:40 東京駅9番線サンライズ出雲10号車前に、各自、①乗車券、②翌日朝食を購入し集合

<8号車>4番(1F禁煙)【山下さん】

<10号車>ラウンジ(無料。左右各4席)とシャワー室(車内にチケット販売機あり) >

<12号車>ノビノビ座席3番A席(1F)【村田】

<13号車>4番(1F喫煙)【兵藤さん】

<14号車>24番(2F禁煙)【清水先輩】、27番(2F禁煙)【萩野先輩】

21:50東京発-22:15横浜発-23:23熱海発 ★希望者は10号車ラウンジに酒つまみ持参し小宴会!

■4/7金 出雲大社+松江城+ゲストハウス寿庵0859-52-2867

<https://daisen-guesthouse-juan.com/>

4:00京都・4:30大阪・5:00三ノ宮通過、5:25姫路発、5:40日の出、6:27岡山発(「瀬戸」を切り離し)

9:58出雲市着 ★出雲市駅にコインロッカー、手荷物預かり所あり

<10:00-13:30 タクシー片道20分+出雲大社+昼食>

13:34出雲市-14:16松江 ★松江駅にコインロッカー、手荷物預かり所あり

<14:30-15:30タクシー片道5分+松江城>

15:40松江-16:19米子 ★翌日昼食&行動食を各自購入(夕食朝食は前神さんが全員分お手配)

16:50米子-17:45大山寺(日本交通バス) ★バス停すぐの「参道市場」で酒購入可。18:00まで!

17:50ゲストハウス寿庵 ★前神さん金子さん合流。男:八畳+二段ベッド2人、女:専用二段ベッド2人

18:00-19:00温泉 ★18:20が最終受付

19:00-21:00夕食(自炊)、22:00就寝

■4/8土 大山登山(標高差953m。標準時間×1.5。下山後解散)★登山時、宿に手荷物デポ可

<https://yamap.com/activities/15064607/article#image-199651496>

5:00起床、5:30朝食(自炊)、5:45日の出、6:20出発、6:30大山寺バス停から登山開始

【往路: 行者谷コース】6:45大山寺-7:30宝珠越分岐-8:30元谷-9:15夏山登山道・行者谷コース分岐-9:35六合目避難小屋-11:20弥山1709m(昼食30分)

【復路: 夏山登山道コース】11:50弥山-13:20六合目避難小屋-13:35夏山登山道・行者谷コース分岐-14:50夏山登山道入口-15:05大山寺バス停(下山後解散→手荷物ピックアップ?温泉?反省会?)

【参考】15:20or18:10or19:10大山寺-16:12or19:04or19:58米子(日本交通バス)

*村田は米子20:15-7:30新宿の夜行バスで帰宅。

【添付】ガイドブック(大山(だいせん)): 地図、解説など